

伊達市大滝区簡易水道事業経営戦略【概要版】（案）

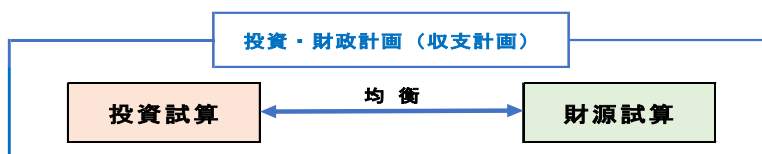
1. 経営戦略策定にあたって

1) 経営戦略策定の趣旨

現在の水道事業を取り巻く環境は、水道施設や管路の老朽化による更新時期の到来や人口減少等に伴う料金収入減により厳しさを増してきています。

伊達市大滝区簡易水道事業においても例外ではなく、住民の日常生活に欠かすことのできない水の提供を将来にわたり安定的に継続することが可能となるよう、事業運営の効率化とともに健全な事業経営に努める必要があります。

本計画は、「投資試算」及び「財源試算」の将来予測や経営健全化、財源確保の具体的方策を整理し、中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」としてとりまとめ安定した事業経営に努めようとするものです。



2) 経営戦略の位置づけ

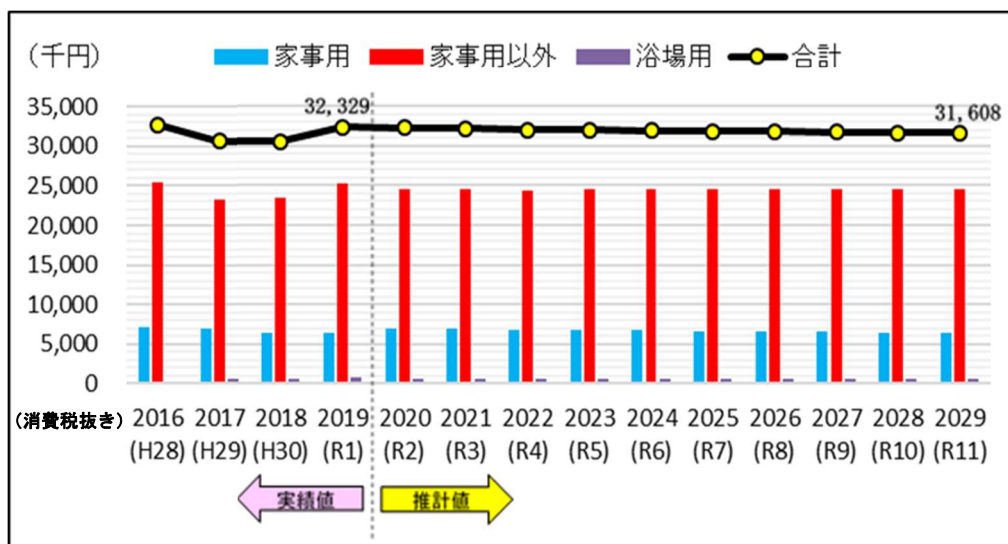
本経営戦略は、本市の基本計画である「第7次伊達市総合計画」と水道事業の運営に関する方向性と基本的な考え方を示した「伊達市水道ビジョン」を上位計画として、施策や目標を実現するための経営に関する基本計画であり、中長期的な視点に立った投資・財政計画に基づく戦略的な経営を推進するものです。

3) 経営戦略の計画期間

計画期間は、2020年度（令和2年度）から2029年度（令和11年度）までの10年間とします。

2. 料金収入の見通し

計画期間最終年度の2029年度（令和11年度）では3,160万8千円と推計されており、今後は給水人口の減少に伴い家事用は減少傾向で家事用以外は横ばいで推移する傾向であることから、料金収入は緩やかに減少すると予測しています。



3. 経営の基本方針

基本理念

「伊達市水道ビジョン」において定めた基本理念『人と自然に優しい水道』に基づき、安心・安全に飲める水を安定的に供給しながら経営基盤を強化しライフラインとしての役割を充実させていきます。

基本理念～ 『人と自然にやさしい水道』

また、基本理念を実現するための具体的な施策として、基本方針を下記のとおりとします。

- 基本方針～
- 安心して飲める水の確保
 - 安定した水の供給・災害に強い水道システムの構築
 - 健全で持続可能な事業運営
 - 環境にやさしい水道

4. 投資・財政計画（収支計画）

1) 投資・財政計画（収支計画）のうち投資についての説明

(1) 整備方針

将来にわたって安心・安全な水を供給するため、施設の更新・改修を進めます。維持・補修により延命化を図るとともに、目標設定耐用年数を基準として計画的に施設の更新・改修を進めます。

(2) 施設整備計画

① 浄水・配水施設

- 2013 年度（平成 25 年度）に実施した水不足解消事業を最後に、当面は新たな水道施設の建設予定はありません。
- 各浄水場のろ過池、配水池、浄水池等の施設の更新については、点検や補修を実施しながら延命化を図ります。

② 計測機器・電気設備等

- 目標設定耐用年数の経過した老朽化している計測機器・電気設備等については、その重要度や老朽度から判断して更新を進めます。

(3) 管路更新計画

- 目標設定耐用年数による更新としており、過去の漏水件数も少ないことから、計画期間中は補修による延命化を図り、2030 年度（令和 12 年度）以降から計画的に更新を進めます。

2) 投資・財政計画に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

(1) 投資についての検討状況等

① 施設・設備の廃止・統合（ダウンサイジング）

- 給水人口の減少による水需要の状況を踏まえ、施設・設備の休止又は廃止の検討を進めます。
- 将来的な水道事業との事業統合に向けて協議します。

② 施設・設備の長寿命化等の投資の平準化

- 老朽化した施設は、維持・補修を行いながら延命化を図ります。

(2) 財源についての検討状況等

① 料 金

■現在の料金体系を維持することとしますが、今後の状況によっては料金統一を行った水道事業とともに、料金改定の必要性や実施時期について検討することとします。

② 企業債

■機械設備更新計画に基づき、2023年度（令和5年度）、2024年度（令和6年度）に企業債の借り入れを予定しています。

③ 繰入金

■一般会計からの繰入金は、地方公営企業繰出金の通知に基づき、基準に該当する基準内と基準外の繰入があります。料金収入の減少が予測される中、経費の削減等により基準外繰入金の減少に努めます。

投資・財政計画（収支計画）～収益的収支

区 分		年 度												
		2018年度 (平成30年度) 決算	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	
収益的 収入	1. 営 業 収 益	30,638	32,367	32,374	32,282	32,076	32,122	32,036	31,960	31,917	31,839	31,773	31,712	
	料 金 収 入	30,572	32,329	32,270	32,178	31,972	32,018	31,932	31,856	31,813	31,735	31,669	31,608	
	そ の 他	66	38	104	104	104	104	104	104	104	104	104	104	
	2. 営 業 外 収 益	50,667	56,277	54,089	52,439	52,093	51,402	54,198	60,250	59,884	59,528	59,196	58,775	
	収 入 計	81,305	88,644	86,463	84,721	84,169	83,524	86,234	92,210	91,801	91,367	90,969	90,487	
収益的 支出	1. 営 業 費 用	72,554	77,050	76,067	75,207	75,406	75,566	78,671	84,720	85,050	84,929	84,642	84,272	
	(1) 職 員 給 与 費	10,623	11,537	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	11,592	
	(2) 経 費	25,039	28,716	28,459	28,263	28,346	28,335	28,295	28,306	28,312	28,305	28,308	28,308	
	(3) 減 価 償 却 費	36,892	36,797	36,016	35,352	35,468	35,639	38,784	44,822	45,146	45,032	44,742	44,372	
	2. 営 業 外 費 用	8,277	11,594	10,396	9,514	8,763	7,958	7,563	7,490	6,751	6,438	6,327	6,215	
	支 出 計	80,831	88,644	86,463	84,721	84,169	83,524	86,234	92,210	91,801	91,367	90,969	90,487	
	経 常 損 益	474	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	当年度純利益（又は純損失）	△ 350	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

投資・財政計画（収支計画）～資本的収支

区 分		年 度												
		2018年度 (平成30年度) 決算	2019年度 (令和元年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)	
資本的 収入	1. 企 業 債	0	0	0	0	0	23,000	40,000	0	0	0	0	0	
	2. 他 会 計 出 資 金	10,488	13,494	13,895	14,692	15,133	17,322	20,591	19,872	11,919	6,042	5,784	5,911	
	収 入 計	10,488	13,494	13,895	14,692	15,133	40,322	60,591	19,872	11,919	6,042	5,784	5,911	
資本的 支出	1. 建 設 改 良 費	10,397	1,739	2,105	6,345	6,899	24,817	42,171	11,161	11,378	2,986	2,501	3,166	
	2. 企 業 債 償 還 金	38,206	39,947	37,247	33,460	34,257	35,078	38,172	40,629	21,562	11,486	11,067	11,189	
	支 出 計	48,603	41,686	39,352	39,805	41,156	59,895	80,343	51,790	32,940	14,472	13,568	14,355	

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

目標の達成と事業の計画的・効率的な実行のためには、PDCAサイクルに基づく適切な事後検証が必要となります。

計画期間内は毎年度進捗管理(モニタリング)を行い経営状況を確認し、収支計画との乖離や内容の整合性を検証するとともに、必要に応じて見直し(ローリング)を行います。

**伊達市大滝区簡易水道事業経営戦略
【概要版】**

発行 2020年（令和2年）4月
編集 伊達市建設部水道課

〒052-0024

北海道伊達市鹿島町20番地1

TEL (0142) 82-3297

FAX (0142) 21-2170

Mail suido@city.date.hokkaido.jp